

大佛次郎記念館テーマ展示Ⅲ (2015.11/12～2016.3/13)

野尻抱影生誕 130 年は冥王星イヤー☆「星の抱影と弟・大佛次郎」関連企画

## 講演会「日本人の星と宇宙—野尻抱影生誕 130 年」

参加者募集中!

講師：<sup>かいふ のりお</sup>海部宣男氏 (国立天文台名誉教授、国際天文学連合[IAU]顧問)



日時：2016. 1. 16 (土) 13:30～15:00 (予定)

会場：横浜人形の家 4階「あかいくつ劇場」

みなとみらい線 (東急東横線直通) 元町・中華街駅4番出口から徒歩3分

定員：130名 \* 11/1 より受付開始。先着順。定員になり次第、応募を締め切ります。

参加費：大人 500円 (大佛次郎記念館への入館料込) 小中学生 無料(要申込)

応募方法：このチラシを応募用紙としてご利用ください。(切らずにそのまま

FAXするか大佛次郎記念館までご持参ください)Eメールでも以下の項目と「星の講

演会 1/16」係を明記の上ご応募ください。①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号

専門は電波天文学、赤外線天文学。ミリ波天文学の開拓で仁科記念賞、星間物質の研究で日本学士院賞を受賞。ハワイ観測所所長としてすばる望遠鏡を完成後、2000-06年まで国立天文台台長。アルマ国際望遠鏡の建設などを推進した。2012年8月より3年間、国際天文学連合(IAU)の会長をつとめた。

専門分野の著書・学術論文に加えて、科学の普及につとめ、一般向けの著書も数多い。『すばる望遠鏡の宇宙』(岩波新書)、『アジアの星物語』<監修>(万葉舎)のほか、宇宙と詩歌を結ぶ、『宇宙をうたう』(中公新書)、『星めぐり歳時記 宇宙吟遊・光とことば』(じゃこめてい出版)など。

野尻抱影は弟・大佛次郎に多大な影響を与えましたが、日本独自の星の名前を初めて本格的に発掘したことで有名です。ラジオや本、新聞で星の美しさや神話を紹介し、親しまれました。私も抱影の本を愛読した子供でした。この講演ではまず「星の抱影」を紹介し、ついで詩歌・俳句を手掛かりに、日本人の心に映じた星空の変化を古代から現代までたどります。万葉集には、月や星を愛でる歌はありません。でも七夕やお月見が愛され、地方には豊かな星の和名が生まれ、大正時代には星ブームが。探査機ニューホライズンズから届く、抱影ゆかりの冥王星の最新画像も解説します。(海部宣男)

問い合わせ先：〒231-0862 横浜市中区山手町 113 (港の見える丘公園内) 大佛次郎記念館 Tel. 045-622-5002

申込み：FAX. 045-622-5071 Eメールアドレス：osaragi-oubo@yaf.or.jp (応募専用)

「星の講演会 1/16」係と必ず明記してください。

ふりがな	参加人数 (申込者を含む)	
氏名	名	
住所	〒	
連絡先	電話番号・FAX 番号・Eメールアドレスのいずれか (複数可。該当のものに○をしてください)	

\* お預かりした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護規程に基づき厳重に管理するとともに、講演会にかかわる連絡以外には使用いたしません。